						_												
	工業高等	専門学校		開詞	第年度	令和	1105年月	芰 (20	23年月	度)		授業科	斗目	プロク	ブラム研	究基礎	性セミ	ナー
科目基礎	情報																	
科目番号		0027							科目区分	\		専門	門 / 選	択				
授業形態		講義							単位の種	別と	単位数	履何	多単位:	2				
開設学科		専門共通	通選択	科目					対象学年		5							
開設期		通年							週時間数 2									
教科書/教	材																	
担当教員		村上 祐	貴,陽田	日修														
到達日標	到達目標																	
(科目コー この科目目の ①ケーション ②ケーション ②技術者か (e1)(e2)(③技術者か	- ド:61260 は長岡高専標と ブークンを持って共 事象の本質を g1) 、社会に負っ	教育目標の	D(A)(I 面上の プ究を 要約 を認	B)(E)(重要性 要性 整理 し、	(G)と主(け, 各至: 理解して ことがで	体的できませる。	三関わる. 目標と長岡 日分の意見 ら。評価の 課題を発見	· 高専の を述べ 重み: し解決	るととも 40%, : 行動を排	教育到 5にチ 学習・ 是案で	達目標 ームの 教育至 きる。	との関 一員と 別達目標 評価の	連を以 して他 『との関 重み:	下に示す 者の意見 連(b2) 40%,	見を尊重し 学習・教	育到達目	目標との	ユニ・関連
	学習・教育到	達目標と	の関連	(a3)														
ルーブリ	リック														_			
					ベルの目		標準的な				最低阻	の到達	レベル	の目安	未到達	レベルの	り目安	
意見を尊重 ユニケーシ	-員として他 這し、適切な /ヨンを持つ T究を進める	オコてこと	プの必 分の意 チーム 意見を ユニケ	要見の尊一・ごを対しません	リーダーでは、	とも者はって	チームワッ自にの意にの意とのできません。	要性を対見の単一を対象のである。	理解しているというでは、適切がいる。	てと者にして	意見をユニク	≧尊重し ケーショ 美・研究	ハ適切 ≀ンを持	で他者の 日なコミ 行って共 いること	意見を	尊重し、 ーション ・研究を	として他 適切な シを持っ を進める	コミー
課題を発見 案できる。	見し解決行動	を提に課	要約・	整理す 見し解	質を論理 ることで 決行動を 。	で、	複雑な事 に要約・ 課題を発 案できる	整理す	ること	で、	課題を案でき		解決行	i動を提	課題を案でき		解決行動	を提
責任を認識	t会に負って 載し、自らの tることがで	はな 責任と対して	壬を認 寺続的 自らの	識し、 社会の キャリ	負ってい 技術の勢 あり方が アを十分できる。	発展から	技術者が責任を認と持続的、自らのことがで	識し、 i社会の iキャリ	技術の	発展から	責任を	≧認識し	、自ら	ている 6のキャ できる		認識し、	こ負って 自らの ことがで	キャー
学科の到	」達目標項														-1			
教育方法																		
概要		生はプロ語、英語的創造院 で専門分 担当方式	コグラ」 吾で相 舌動をう 予野・・ 代(毎[ム研究 手の意 支援で 一般科 回の授	特別セミ 見を聞く きる能力 目の知識 業を複数	ミナー こと まだ、 と なが、 数の 数の	題解決に I・Iに ができる につける 企業等で に関が同時	参加し 能力に 。 と の と に 担当	て質疑点 加え、特 、地域』 うに活用 する科目	答お 注定の 業に 引・応 引・で	よびグ 集団に 所属す 用され。	ループ よる問 る実務 るかを	ディス 題解決 技術者 学ぶ。	カッショ 、アイテ の指導を この科目	ョンを繰り 『ア創造、 で受けるこ 目は、2名)返すこ 合意形 ことで、 Aの教員	とで、 成など(高専で が複数	日本 の知 学ん 教員
授業の進め	方・方法	の指導の	D下、t	也域企	業が抱え	る課	究特別セ 題解決に 術者をは	取組む	。課題廟	ア 発に	あたっ	て、地	域企業	への訪問	・取材を	・グルー	プで行	5.
注意点		検証でき	₹る技行	析者と	しての素	慰地を	家からの 身に付け で社会の	てほし	い。その	つため	には、	授業だ	けでな	く、新聞	等のマス	スメディ	アから	案・ 発信
授業の属	性・履修	上の区分)															
☑ アクテ	ィブラーニ	ング		ICT	利用				」遠隔	授業対	応			図 実	務経験の	ある教	員による	5授業
授業計画	<u> </u>																	
-		週	授業	内容							週こ	ごとの到	達目標					
		1週	+	ダンス							本科	目の概	要と到	達目標を	を説明で	 きる。		
	2划			解決	(問題把排	屋・調	題抽出・	取材方	針)		な情 、-	「報収集 ・連の活	、論理 動を通	的な議じて、1	- ムで決流 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	形成がで と学習の	できる。 D関連性	また を理
3週 前期 1stQ		3週	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)				針)		な情	。 JSCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる								
	利期 1stQ 4週		課題	解決	(問題把排	屋・誤	題抽出・	取材方	針)		は「	「報収集 ・連の活	、論理 動を通	≧的な議詞 3000 € 1	- ムで決流 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	形成がで と学習の	ごきる。 D関連性	また を理
		5週	課題	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)					な情 、-	」SCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる				また を理				

		1	
	6週	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)	JSCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる。
	7週	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)	JSCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる
	8週	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)	JSCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる
	9週	課題解決(問題把握・課題抽出・取材方針)	。 JSCOOPの取材方針をチームで決定するために、適切な情報収集、論理的な議論、合意形成ができる。また、一連の活動を通じて、企業活動と学習の関連性を理解し、自身のキャリア形成の一助とすることができる
	10週	課題解決(JSCOOP企業取材)	・ 企業取材をとおして技術者が社会に負っている責任を 認識し、技術の発展と持続的社会のあり方から、自ら のキャリアを考えることができる。
	11週	課題解決(JSCOOP企業取材)	企業取材をとおして技術者が社会に負っている責任を 認識し、技術の発展と持続的社会のあり方から、自ら のキャリアを考えることができる。
2ndQ	12週	課題解決(JSCOOP企業取材)	企業取材をとおして技術者が社会に負っている責任を 認識し、技術の発展と持続的社会のあり方から、自ら のキャリアを考えることができる。
	13週	課題解決(JSCOOP取材振返り・解決策検討)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を提案できる。
:	14週	課題解決(中間発表)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を他者が理解できるよう論理的に説明できる。
	15週	課題解決(中間発表)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を他者が理解できるよう論理的に説明できる。
	16週		
	1週	課題解決(中間発表振返り・解決策検討)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を提案できる。
	2週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を提案できる。
	3週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
2-40	4週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
3ruQ	5週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	6週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	7週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	8週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	9週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	10週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
4+b0	11週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
+u1Ų	12週	課題解決(課題解決策検討・検証)	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策を提案できる。
	13週	課題解決 成果発表	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を他者が理解できるよう論理的に説明できる。
			抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案
	2ndQ 3rdQ 4thQ	7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週 15週 16週 1週 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 11週 12週	7週 課題解決 (問題把握・課題抽出・取材方針)

15週	課題解決 成果発表	抽出した問題を工学的な課題として明確化でき、立案 プロセスに沿って、種々の制約条件を考慮した解決策 を他者が理解できるよう論理的に説明できる。
16调		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	プカリキュ	分野	学習内容	ミロ 伝 学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
				論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,前 14,前15,後 13,後14,後 15		
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,前10		
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な 情報を収集できる。	3	前2,前3前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,後 1,後後後 3,後後後後後 5,後後後後後 9,後10,後 11,後12		
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,11, 10,前13,後 12,後2,後8 4,後後,後後 5,後後後後後 7,後 11,後 11,後 11,後 11,後		
基礎的能力	人文・社会 科学	国語	国語	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前13,前 14,前15,後 13,後14,後 15		
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口 頭発表することができる。	3	前13,前 14,前15,後 13,後14,後 15		
						課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前前7,前前前112,前13,前114,前15,14,前15,後2,後8,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思い や考えをまとめることができる。	3	前2,前3前 4,前5,前 6,前7,前 6,前7,前前 10,前前11,5 14,前15,後 4,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後		

				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理 するための手法を実践できる。	3	前3前前3前前3前前前112,前5,前前前前前113,前5,前前前前113,前21,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	前4,前7 6,前7 6,前7 6,前前9,11 10,前前11 14,後2 6,後後 6,後後 7,後後 6,後後 7,後後 8,後 8,後 8,後 8,後 8,後 8,後 8,後 8,後 8,後
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	前2,前3,前3,前3前前前112,前3,前前前前113,前3,前前前113,前前113,前前前113,前前前113,後後後後後後後後後後
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前4,6 6,前前前13,5 8,前前前前13,5 8,前前前前13,6 8,前前前13,6 8,前前前13,6 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前,前, 6,前前,前, 6,前前前,前, 10,前前前,前,前,前,前,前,前,前,前,前 112,前,前,前,前,前,前,前,前,前,前,前,前, 14,後後後,後後 14,後後後後後後 11,後 13,後 13,後 14,後 14,後 14,後 14,後 14,後 14,後 15, 15, 15, 16, 16, 16, 16, 16, 16, 16, 16, 16, 16
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実 践できる。	3	前2,55,前 4,前前3,前前 6,前前11,前 8,前前前11,前 12,後後4,後後 4,後後6,後 5,後後8,後 9,後後10,在 9,2 11,2 11,2 11,2 11,2 11,2 11,2 11,2

	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。	3	前2,前3,前4,前5前6,前7,前前前11,前13,後1,後2,後後,後後,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
	収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前2,前3,前4,前5,前前5,前前5,前前前前113,後8,前前前113,後後4,後後4,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
	収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。	3	前2,前3,前4,前5,前6前7,前前前前前113,後8,前前前前113,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
	情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について 自己責任が発生することを知っている。	3	前14,前 15,後13,後 14,後15
	情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前14,前 15,後13,後 14,後15
	目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	前14,前 15,後2,後 13,後14,後 15
	あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	前2,前3,前 4,前5,前 6,前5,前前 10,前11,前 12,前13,前 12,後後後後 3,後後後後 5,後後後後 7,後後後後 11,後後後 11,2
	複数の情報を整理・構造化できる。	3	前2.前3,前4,前5,前前前前7,前前前前11,0 8,前前前11,前12,後2,後後4,後後4,後後4,後後4,後後後後,後後4,後4,後12,後12,
	特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前前6,前7,前前前10,前11,前12,後4,後後後4,後後後8,後410,後11,後11,後11,後11,後11,後11,後11,後11,後11,後

			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前前9,後後 6,前6,前6,前後 8,前6,前後 1,後後 1,後後 3,後後 5,後 4,後後 5,後 8,後 7,後 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8, 8,
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	9,後10,後 11,後12 前2,前5,前7, 前前7,前前7,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	前14,前 15,後13,後 14,後15
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前 4,前前 6,前前 6,前前前前 10,前13,後 8,前前前前 12,後2,後後 4,後後 3,後後後 7,後後 8, 7,後後後 11, 8
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	前3,前3前4,6,前3,前前前前10,前3,前前前11,後2,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現でき る。	3	前14,前 15,後13,後 14,後15
態度・志向	態度・志向	態度・志向	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前、10,111,111,111,111,111,111,111,111,111,
性(人間力)	志向 態度・志向 力) 性	et Land	自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	前,10,000 前,1

		目標の実現に向けて計画ができる。	3	前2,前3前4,前7前6,前前112,前前前前113,前5前前前113,前2,6後後後後後,113,在4後4後後後後,113,在40分割。
		目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前2,前3,前 4,前7,前8,前前10,前前前前11,前前前前11,前 12,前前前前11,前前11,前前前前前前前前14,後後後後後後後後後後後後後後後後
		日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前2,55 前3,前前前11,56 6,前9,前前11,12,前前前前前前15,後 1,後24,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
		社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	前4,前3前 4,前5前 6,前前9前11,前 10,前前前前11,前 11,前15, 14,後後後後 11,後後後後後 11,後後後後後 11,後 11, 11, 11,
		チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前, 10,000 10,000 10,000 10,000 10,000 10,000 11,00
		チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他 者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ る。	3	前2,155 前3前前 6,前前9前10,前前12,前前9前前113, 14,前前9前前135, 14,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後

当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	前2,前3前4,前5,前前5,前前7,前前7,前前11,3前13,前前12,前13,前14,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前4,前5,前5,前13,前前前前11,3,前前前113,5,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,在6,
リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	前2,前3,前3,前5,前5,前5,前5,前前9,前前9,前113,50,前前113,15,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	前4,前5,前5,前10,前前前前113,前5,前前前前113,前5,前前前113,5後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後113,後後後後後113,413,513,513
リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 での相談が必要であることを知っている	3	前 4,25,15,前 6,前前7,前前7,前前112,前前前113,前前113,前前113,前前113,前前113,前,14,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前10,前 11,前12
他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前10,前 11,前12
技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に 負っている責任を挙げることができる。	3	前10,前 11,前12,前 14,前15,後 13,後14,後 15
自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前10,前 11,前12,前 13
その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前10,前 11,前12,前 13

			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認 識している。	3	前10,前 11,前12,前 13
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前10,前 11,前12,前 13
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前10,前 11,前12,前 13
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	前10,前 11,前12,前 13
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	前10,前 11,前12,前 13
			調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,後13,後 14,後15
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。	3	前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,後13,後 14,後15
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,後13,後 14,後15
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。	3	前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,後13,後 14,後15
			工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	前2,前3前 4,前5,前6 6,前7,前18,前9,前11,前112,前113,後23,後23,後23,後後4,後83,後後8,後83, 7,後8,00 11,前11,後後
			要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前6,前9,前3,後4,後4,後6,後8,後6,後8,後8,後8,後8,後8,11,2
総合的な学 習経験と創 造的思考力	総合的な学 習経験と創 造的思考力	総合的な学 習経験と創 造的思考力	課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	3	前2 前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,前 13,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 9,後10,後 11,後12
			提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければなら ないことを把握している。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前3,後4,後6,後6,後後6,後後9,後10,後11,後12
		経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持 続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前3,後4,後2,後6,後6,後8,後6,後8,後8,後8,0,2	
	1	l	I	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	60	40	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	60	40	0	0	0	100